HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	北海道豪雪過疎地域における広域的除排雪ボランティアシステム構築に関する実践的研究(1) : 札幌発「雪はねボランティアツアー」の実践と課題
Author(s)	中前, 千佳; 小西, 信義; 原, 文宏 他
Citation	北海道の雪氷, 32, 42-45
Issue Date	2014-01-31
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/56280
Type	journal article
File Information	2013_snowhokkaido32_10_Nakamae-1.pdf

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

北海道豪雪過疎地域における

広域的除排雪ボランティアシステム構築に関する実践的研究(1)

—札幌発「雪はねボランティアツアー」の実践と課題—

Practical Study on the Volunteer for Snow removal

中前千佳（一般社団法人北海道開発技術センター），小西信義（北海道大学大学院文学研究科），原文宏（一般社団法人北海道開発技術センター），堀翔太郎（北海道大学文学部）
Chika Nakamae, Nobuyoshi Konishi, Humihiro Hara, Shoutarou Hori

１．はじめに

近年，急激に進む少子高齢化や過疎化などによって，中山間地域や農村部といった地方では，定住人口の減少や地域経済の停滞などの厳しい現実に直面している．地方では，都市部に比べて地域における労働の担い手の減少が著しく，地域コミュニティの維持が難しくなってきている．特に，豪雪過疎地域では，急速な高齢化の進行により，住宅周りの除排雪を行う担い手が減少しており，冬期における除雪問題が深刻化している．そこで，このような豪雪過疎地域の除雪問題を解決するために，都市部に住んでいる学生や企業人を除雪ボランティアとして募り，地域の除雪のお手伝いを担ってもらうという，市町村を跨いだ広域的な除排雪ボランティアシステムの仕組みを構築することを目指して，平成 25 年冬期に札幌発着型の「雪はねボランティアツアー」を企画した．ツアーは，岩見沢・三笠・上富良野・倶知安の 4 地域計 6 回を実施し，持続可能なボランティアシステムを構築するための実践的研究を行った．本報告では，「雪はねボランティアツアー」の概要を報告する．



雪はねボランティアツアーのチラシ

２．ツアー企画・実施概要

①ツアーの実施主体

ツアーの企画･実施主体は,「ボランティア活動による広域交流イノベーション推進研究会」が行った．この研究会は都市部と地方部の広域的な交流による地域活性化を目指して，大学などの研究者，企業の CSR（社会的責任）活動に携わる担当者ら 20 人が集まり，平成 24 年 8 月に発足した任意団体である．研究会の事業費については，企業・団体，個人からの協賛金等によって確保している．

②ツアーの行き先

ツアーの行き先については，地域の行政機関や，地域住民の理解･協力が得られる場所で，かつ札幌からの日帰り圏内で地域を検討した結果，岩見沢市美流渡地区（2 月 3，16，23 日），上富良野町泉地区（2 月 9 日），三笠市弥生・幾春別地区（2 月 10 日），倶知安町琴和地区（3 月 10 日）の 4 地域とした．4 地域の概要は以下の表に示す（表 1）．

Copyright © 2013　公益社団法人日本雪氷学会北海道支部

表１　地域の概要

場　所	概　要
岩見沢市 美流渡地区	岩見沢市街から東に 15 ㎞程の所に位置する人口約 600 人の旧産炭地域．年間積雪量が 6 ｍを越える豪雪地域である．市内全体の人口は約 8.9 万人，高齢化率は 28.7%．
上富良野町 泉地区	十勝岳連峰のふもとに位置している．年間降雪量は平坦部で１ｍ，2 月の平均気温は約－8℃．町の人口は約 1.2 万人，高齢化率は約 26.6%，独居老人世帯は約 440 の地域である．
三笠市 弥生地区	道内における官営採炭と鉄道のはじまりの地区．相次ぐ閉鉱により現在の市内全体の人口は 1 万人をきった．平成 24 年豪雪では，自衛隊の出動があった地域．高齢化率 43.2%．
倶知安町 琴和町内会	羊蹄山麓に位置するため北海道の地域の中でも非常に降雪量が多く，年間降雪量は 10m を超え，毎年の最深積雪は 2m 前後となる．町の人口は約 1.5 万人，高齢化率は 22.3%．

（人口・高齢化率等のデータは平成 24 年 10 月現在）

②参加者の募集方法・ツアー内容

除雪ボランティアの募集は，ツアー会社を介して一般参加者を募集することに加え，研究会メンバーである CSR に取り組む民間企業を通じて参加を募った．また，本企画旅行に関する記事を新聞や Web サイト等で掲載して頂いたり，本企画を告知する facebook 等を立ち上げ，広く周知を図った．

ツアーでは，高齢者宅の玄関周りや窓を掘り起こす雪はねボランティアの作業だけでなく，それぞれの行き先ごとにテーマを設定した．岩見沢市美流渡では，「ボランティア＆学び」というテーマで，地域医療の話や除雪に関する体力科学の話をそれぞれの専門家から学ぶ時間を設けたり，上富良野町のツアーでは「ボランティア＆地域交流」というテーマで，雪はねボランティアの作業終了後に，地域の方々と一緒に地元食材を使った食事を取りながら交流できる機会を設けたり，ウィンターサーカスという地域のアートイベントを見学するなど，観光的な要素など様々な内容を盛り込んだ．また，倶知安町では，町内会で除雪ボランティアの組織が結成されているため，ツアー参加者と地元の除雪ボランティアの人達が一緒に雪はね作業を行い，作業後に食事を取りながら交流するという内容とした（表 2）．

表２　ツアー実施の場所・日程・テーマ

ツアー名	行き先	日　程	参加費	テーマ	内　容
岩見沢市美流渡 雪はねツアー	岩見沢市 美流渡地区	2/2，2/16，2/23 8:30～19:30	1,500 円	雪はね＆ 学び	不思議な雪の魅力，雪はねにまつわる体力の話，地域医療の話等，雪にまつわる学びの機会を提供．
上富良野 雪はねツアー	上富良野町 泉地区	2/9 8:30～21:00	3,000 円	雪はね＆ 地域交流	雪はねのあとは，地域の人達と地元の美味しい食材を頂きながら，お話する交流会を設定．
三笠市弥生 雪はねツアー	三笠市弥生・ 幾春別地区	2/10 8:30～17:00	1,000 円	がっつり 雪はね	しっかり雪はねをした後に，ゆっくり温泉に入って，疲れを癒すコース．
倶知安 雪はねツアー	倶知安町 琴和町内会	3/10 8:00～17:30	1,000 円	地元の人と一緒にゆきはね	地元の人たちと一緒に雪はねをした後に，地元の方に作って頂いた料理を一緒に頂く内容．

③ツアー費用

バスツアーのバス運行費用については，企業・個人からの協賛金で賄い，参加者の昼食代，温泉入浴料，保険等の費用については，参加するボランティアに各自負担してもらい，ツアー全体の費用を賄った．

④除雪作業の事前準備

除雪作業を実施する場所は，独居老人世帯や障がい者世帯とし，役場や社会福祉協議会，

Copyright © 2013　公益社団法人日本雪氷学会北海道支部

町内会等を通じて，予め場所の選定をして頂いた．

また，参加者には，安全に除雪作業に参加してもらうため，「除雪の 10 ヶ条」（出典：森田勲・須田力（2007）人力除雪学序説－めざせ雪かき名人－）を記載したパンフレットを事前に送付し，当日も持参してもらい，移動中のバス内で説明を行った．

⑤除雪ボランティアの実施

除雪作業の範囲・レベルについては，基本的に協力世帯で必要とされている作業とし，事故リスクが高い屋根の雪下ろし等については，作業の対象としなかった．除雪道具の準備及び，現地での事前説明（当日の注意事項や除雪作業に不慣れな参加者への道具の使い方など）については，ツアー事務局の担当者や現地の社会福祉協議会等が行い，作業開始前には準備体操からはじめ，安全な除排雪作業ができるよう配慮した．参加者は，玄関前の間口除雪や，雪に埋もれそうな窓前の除雪及び氷の除去作業などを行った．



写真 1. 除雪作業の様子（岩見沢）



写真 4. 除雪作業の様子（上富良野）



写真 7. 除雪作業の様子（三笠）



写真 10. 除雪作業の様子（倶知安）



写真 2. 除雪作業の様子（岩見沢）



写真 5. 交流会の様子（上富良野）



写真 8. 地元の人との交流の様子（三笠）



写真 11. 交流会の様子（倶知安）



写真 3. 学習交流会の様子（岩見沢）



写真 6. アートイベントの様子（上富良野）



写真 9. 集合写真（三笠）



写真 12. 温泉入浴の様子（倶知安）

３．ツアー実施結果

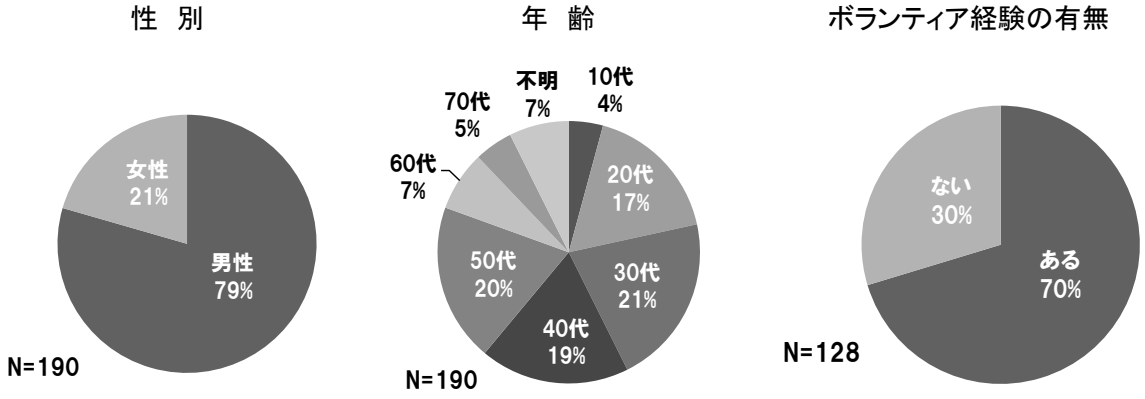
①ツアーの参加状況

ツアーの全参加者（現地集合者も含む）は，190 名の参加者（表 3）があり，その内，男性が約 8 割，女性が約 2 割，20 代以下，30 代，40 代，50 代が約 2 割ずつを占め，残りは，60 代以上が約 1 割という内訳であった．また，全参加者の内，2 回以上参加した方は 37 名おり，リピーターの割合は全体の約 2 割となっていた．なお，参加者の内，約 7 割がなんらかのボランティアを経験したことのあるボランティア経験者であった．

Copyright © 2013　公益社団法人日本雪氷学会北海道支部

表３　ツアーの参加者数

日　程	2/2	2/9	2/10	2/16	2/23	3/10	合　計
行き先	岩見沢市 美流渡①	上富良野 町泉町	三笠市弥 生地区	岩見沢市 美流渡②	岩見沢市 美流渡③	倶知安町	
参加者数	25 名	20 名	61 名	27 名	27 名	30 名	190 名



②ボランティアツアーの印象について（アンケートの自由回答より）

参加者の方には，次年度以降の参考とするため，アンケートにご協力頂いた．ここではボランティアツアー運営面についてのアンケート自由回答の結果を一部紹介する．

除雪の作業時間については，「もう少し長い時間雪かきをしたかった（美流渡）」「雪はねの時間が短く，申し訳なかった（倶知安）」や「1 泊 2 日コースの検討をして欲しい（5,000 円くらいを希望）（上富良野）」など，除雪時間や滞在時間をもっと長くして欲しいという声が見られた．

地域の方との交流については，「もう少し地域の方との交流機会を増やして欲しい（美流渡）」「除雪をさせて頂いたお家の方にお礼を言いたかったので，紹介して欲しかった（上富良野）」「ボランティア先のお家の方について事前の情報があればもっと良かった（上富良野）」といった意見が見られた．

また，観光の可能性については，「地域のパンフレット等があれば，自分なりに地域のことを考え，今度は観光で来ると思う（三笠）」「観光コンテンツがなくても，今回のような歓迎をして頂けるとまた行きたくなる（倶知安）」といった意見が見られ，除雪ボランティアツアーがその地域に来訪者を増やす可能性が示された．また，「もっと効率よく体を使えるように（雪はねの）勉強がしたい（美流渡）」など，除雪の技術を学びたいという声も見られた．

４．今後にむけて

アンケートの結果から，ツアー参加者はツアー内容について，除雪時間や滞在時間の増加だけでなく，地域の人との交流機会の増加を求めていることが分かった．また，ツアーをきっかけとして対象地域を知り，再訪の意図を導く可能性があることが分かった．今後は，ツアー参加者から頂いた意見や課題を踏まえ，ボランティアツアーの内容を改善し，道内各地の広域的なボランティアの仕組みを必要とする地域において，雪処理問題の解消に加え，地域の活性化につながるような様々なボランティアツアーを展開していく予定である．

Copyright © 2013　公益社団法人日本雪氷学会北海道支部